

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	4月16日(木)
コーポラティブハウス部会	4月20日(月)
団地・マンション再生部会	4月7日(火)
人と暮らし部会	4月9日(木)
総務部会	
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆としまち研 15周年企画☆

15周年を向かえ、10～15年間のとしまち研を振り返り、8月の一木会を公開勉強会として、座談会を企画しています。詳細が決定次第、ご案内しますので、乞うご期待。

また、節目の年ということで、としまち研の活動を総括した本を出版する予定にしました。部会ごとの活動を振り返り、コーポラティブハウス事業を軸にした“コーポラティブ方式の拡がり”というテーマで内容を検討中です。

としまち研第15回総会のご案内

としまち研の第15回総会を下記の通り開催いたします。会員・賛助会員の方は、できるだけ都合をつけてご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

記

日時：平成27年5月28日(木) 午後6時30分より

場所：としまち研会議室 (千代田区神田東松下町33番地 COMS HOUSE 2階)

総会次第：4月の理事会を経て、準備ができ次第、皆様にお送りします。

※総会終了後は懇親会も予定しております。(場所未定)

以上

としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

○借入金があるが何か建替えの方法はあるか。 ○お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。

というような難しいご相談も検討します。お気軽にご相談ください。

編集後記

先日、久々にあおい地区まちづくり整備協議会の役員会にお邪魔しました。いつ以来だろうというくらいに間が空いていたので、なんとなく緊張の心持ちだったのですが、皆さん覚えてくださり、「帰ってきた」という気分になりました。としまち研のお別れ会をしてくださり、とても楽しい時間を過ごすことができました。いつも行くたびに元気、やる気、いろんなパワーをもらっていたな...と思います。引き続き協議会役員の方々はご苦労されることもあるかと思いますが、皆さんの「世界一のまち」が完成する日を楽しみに、陰ながら応援していますので、頑張ってください！また顔を出します!!! (事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階 tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326 E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/ 皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数 正会員 61人 賛助会員 37人 編集発行人 平石郁夫 事務局担当 飛澤玲奈

としまち研会報 第74号

おいらのまち

2015.3

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

あおい一丁目地区にブルーベリーの苗木の寄贈さる

としまち研会員の大家憲さんのご尽力で、一般社団法人日本ブルーベリー協会から東松島市の集団移転先に既に住みはじめた「あおい一丁目地区自治会」にブルーベリーの苗木130本、アナベル(アジサイ)70本、植え付け用のピートモス1トンが寄贈されました。大家さんは福島第二原発内で東日本大震災に遭遇し、故郷を後にして横浜市に避難されました。福島県双葉町で農事組合法人フタバフルーツランド代表理事として活動されていて、特に「ブルーベリー」栽培については思い入れがあったことで今回のお話を実現することになりました。



ブルーベリー植え付けの様子

2月28日(土)に、大家さん自ら現地にて住民に穴掘りから土の混ぜ方、植え付け方の指導をしてくれ、3月1日(日)はあいにくの雨でしたが、合羽などを着て、あおい地区まちづくり整備協議会(以下、「協議会」という。)役員津田金一さん作成の竹の支柱を使い、ブルーベリーの植え付けを行いました。大家さんのお話によると、ブルーベリーは、今年と来年は花を楽しみ、実を結ぶ前に花を落とすと3年目には実がしっかりと育ち、収穫が期待できるとのことでした。

としまち研は、約2年半にわたって協議会の事務局を担当してきましたが、この3月末をもって事務局業務を終了することになります。これまで多くのとしまち研会員が東松島に足を運び、東松島事務所の阿部久美子さん、青山秀明さんらとともに、様々な活動をしてきました。協議会は、3月25日(水)の第34回役員会の終了後に、としまち研とのお別れ会をしてくださいました。



お別れ会をしていただきました

名残りおいしいですが、あおい地区の集団移転事業は既にスケジュールに乗り、50名ほどの協議会役員・部会員の皆さんを中心に新しいまちづくりが進むものと思われます。今後は、機会があれば「ブルーベリーの生育状況の確認」という名目で訪問しようと思っています。

(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『八重山紀行』としまち研 田辺幸雄

3月の某日から某日にかけて、女房と一緒に石垣島とその周辺の離島に遊びに行ってきました。私の場合、60代に入ってから急に仕事に追われるようになり、たまに以前のように平日に休みをとって大胆に遊びにいかないと頭がおかしくなるためです。

石垣島は私は2回目で、最初に行ったとき白保というサンゴで有名な集落の民宿に数日泊まって離島めぐりをした楽しい思い出があります。石垣島を中心とした八重山諸島は沖縄本島のさらに田舎という位置にあります。このため当時は日本の中にこんな鄙びた良いところがあるのかと驚かされたものです。

今回数年ぶりに訪れてその変貌ぶりにいささか失望しました。石垣島から各離島にわたる「離島棧橋」は、昔は船着き場しかなかったのですが、今は立派な建物になっています。また、「ちゅらさん」の小浜島、西表ヤマネコの西表島にもそれぞれ泊りましたが、完全なリゾート地になっていて昔日の面影はありませんでした。最後の日は石垣本島のクラブメッドというホテルに泊まりました。ここは食べ物や酒が原則全てタダ(宿泊料に含まれている)という点は気に入ったのですが、飲み過ぎて最後にバーで女房が転倒するというオチがつかまりました。離島の果てまで規格化・商品化されすぎて驚きや発見がなくなることはさびしいことです。

一木会ご報告(原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です)

☆第234回一木会(2015. 2. 5)

NPO 高齢期の住まいと&暮らしをつなぐ会の井上理事長に、「高齢期の住まいと暮らしをつなぐ～未来に対して加害者になってはいけない～」というテーマで、高齢期をどのように生きるか、住まいと暮らしという観点からお話していただきました。



世界のトップを走る日本の超高齢社会という現実を目の当たりにする中、高齢者に該当する方にとっても、そうでない方にとっても、大変勉強になるお話をいただきました。

☆第235回一木会(2015. 3. 5)

東日本大震災から満4年、宮城県東松島市の大曲浜で被災された津田とも子さんの被災体験をお聞きました。としまち研会員で神奈川傾聴塾指導者の大森桃子さんに聞き手役をお願いし、津田さんの「自分は津波から逃れたものの、いつも声掛けをしている地域のお年寄りの皆さんに声を掛けられなかったことが悔やまれて…」と食事もできなくなり、極端にやせ細ってしまったこと、そして、三浦正信さんという地元のリーダーからの声掛けで、被災した遺体確認をすることになり、何とか少しずつ立ち直ったという、壮絶なお話を聞きました。



今後の一木会予定

☆4月(4月2日)【第236回一木会】

リガーレ日本橋人形町・団地管理組合理事長 鈴木健一氏

「マンションにおける防災力とは～実践からの声～」

☆5月(5月7日)【第237回一木会】

Nプランニング 成田至弘氏 「マンションの大規模修繕(仮題)」

神田祭でお神輿を担ごう!!!

神田地区などでは、5月9日(土)、10日(日)に神田祭が行われます。

としまち研事務所のある東松下町々は、神田明神の氏子町会ではなく、神田川のほとりにある柳森神社の氏子町会ですので、神田明神への宮入には参加せず、神田須田町二丁目町会と岩本町三丁目金刀比羅講の3社で柳森神社へ宮入をし、町内を練り歩きます。

どちらかというとアットホーム?なお祭りですので、男女とも初めてお神輿を担ごうという方にもお勧めです。

お弁当も出ますし、焼きそば、フランクフルト、ビール、お茶、ジュースなども出ます。また、お神輿を担いで練り歩く際に、途中の給与がたくさん出ます。としまち研からは、東松島復興支援で頑張ってくださった石坂さんがチヂミを出す予定です。(お手伝いをして下さる方大募集です!)

お祭りの半纏(子供半纏もあります)も貸出しますので、友人・知人お誘い合わせの上、9日の朝10時ごろにとしまち研へお出かけください。なお、お祭り開催時はとしまち研事務所を常時開放しています。休憩や着替え、食事等ご利用可能です。

また、としまち研理事の平石郁夫さんがお住まいの岩本町一丁目町会は、神田明神へ宮入するお神輿です。8日(金)の宵宮であれば、お仕事帰りの格好でもお神輿を担ぐことができますので、一度はお神輿を担いでみたいという方はぜひお勧めです。

なお、詳しい内容についてのお問い合わせはとしまち研事務局へ。たくさんの方のご参加をお待ちしております。(としまち理事長 杉山昇)



東松下町のお祭りポスター(案)

入居者レポート(羽根木ガーデンテラス)

昨年12月にコーポラティブハウスに入居してから間もなく、念願だった新年のお茶に入居者のみなさんにもお越しいただくことができました。四畳半の和室の炉に釜を据えた瞬間…思わず家族3人で声を合わせて、「おー!!いいね～」

一方、設計の時にgoogleマップを見て、富士山が見えるように風呂の窓の位置を決めたはずだったのですが、完成した家の風呂の窓を開けると…電柱が邪魔をして富士山が…残念!!

入居後は、全世帯が顔の見える関係なので、子育て環境として、本当に安心



入居お祝い会の様子

です。5歳の息子は、自宅の住戸だけでなく、他のかたの住戸の専有部も含めてマンション全体を我が家だと勘違いしているようです。(笑)

夫婦とも建築関係の仕事をしていることもあって、それぞれ修繕委員会と防災委員会の活動に参加することになりました。初めての消防計画書の作成でしたが、としまち研のサポートもあって、何とか完成させました。これから修繕計画…不安もありますが、長持ちマンションを目指して、入居者の皆さんと一緒にアイデアを出していきたいと思います。

(羽根木ガーデンテラス 阿部俊彦・真紀)



新年のお茶

入谷南部まちづくり協議会 井戸端会議(ワークショップ)を開催しました

としまち研がお手伝いをしている台東区入谷南部まちづくり協議会では、これまでに、旧高校跡地の活用方策の検討を進めてきました。

今年度は、協議会の皆さんから、同じく台東区が所有する旧小学校の活用についても並行して検討したいというご意見があり、今年度最後の協議会活動として2月27日(金)に井戸端会議を開催し、地域の課題や今後の課題等について自由な意見交換を行いました。

子供から高齢者まで利用できる施設や音楽ホールを整備して欲しいといったハード面のご意見から、周辺大学の学生を呼び込み、地域の活性化に繋がりたいといったソフト面のお話まで、様々なご意見をうかがうことができました。

今年度のお手伝いは終了となりましたが、来年度以降についても協議会のまちづくりへの想いを実現するため、引き続きお手伝いが出来ればと思います。(としまち研 五十嵐一博)



井戸端会議の様子

川口アパートメント 第1回個別面談を実施しました

としまち研で再生方策検討のお手伝いをしている川口アパートメント(文京区)では、今年1月から、区分所有者(68名)への第1回個別面談を行いました。

一階の事務所スペースをお借りして各区分所有者の方とお会いし、現在の所有住戸の使用状況や権利関係、再生方策への意向等をうかがいました。

今回の面談では、「建替えによる再生」と、「修繕・改良による再生」のどちらを希望するか、という明確な回答を集計するためではなく、皆さんがどのように将来を考えているかをおうかがいする目的での実施で、これまでお目にかかる機会がなかった方々からもさまざまなご意見をお聞きすることができました。個別面談の実施状況については、3月28日(土)に開催された管理組合の集会にて、皆さんに報告しました。

今後、「建替えによる再生」と「修繕・改良による再生」両方策の具体的な計画案や比較材料を整理していく予定です。特に「修繕・改良」では、築50年を迎えた建物でどのような設備更新等が可能なのか、としまち研としても初めてのことで、各分野の専門家や工事業者にも協力いただき、組合員の皆さんと一緒に勉強しながら、皆さんにとっての最善の再生方法は何かを検討していきたいと思っています。(としまち研事務局 五十嵐敦子)